

平成21年度 松川町行政評価

第三者評価 まとめ原稿

平成21年12月

事務事業名	①まつかわ町民提案型まちづくり事業	担当課局・係	総務課 まちづくり推進係
第三者評価と評価理由	<input type="radio"/> ↑ 拡大 <input checked="" type="radio"/> → 継続 <input type="radio"/> ⇒ 改善 <input type="radio"/> ↓ 縮小 <input type="radio"/> — 終了 <input type="radio"/> ▲ 休止 <input type="radio"/> × 廃止		
	<p>継続→ 8 改善⇒ 2</p> <p>→ある程度の金額の範囲内で町内の新しい芽を育ててください。 →概ね良い方向で評価はできる。3年限度の規定の検討が必要である。 →支援事業は主旨に沿った相応な内容であり継続とした。補助の有無にかかわらず、補助に値する継続性のある事業であるかの検証が必要である。 →町民が参加したり、体験することにより、地域の連帯や活性化に結びつく事業であり継続とする。 ⇒要綱の見直し(構成要件)。運用改善(同好会的な団体は認可しない)(広く町民に呼びかけているか疑問)。活動実績報告書は、活動日時、参加者数を記入。 ⇒既存の組織や運動だけではなく、町に町民の新しい動き(企画や組織)が育つためには有効な施策である。新しい動きは不安定であるとともに財政的にもその基盤が弱い、これらが育たなければ、町の未来は拓けない(必要性は高い)。選定委員会は、助成した組織が、その後も継続・発展しているかどうかを調べ、施策の効果を点検する仕組みが必要である(改善が必要である)。</p>		
附帯意見	<p>→申請者の我田引水的な申請も見られ、もっと町全体、地域全体の活性化を考えた事業を求む。 →町民がその理由にかかわらず“何かしたい”という時に応分の負担を伴う援助ができればよいが、何でも補助してもらおう姿勢は問題がある。採択されない事業は何であったかも知りたい。 →女性ネットワークでのまちづくりが必要である。PR不足である。 →認定にあたっては、引き続き適正な判断基準の中で推進されたい。 →事業が提案され採択された場合、町の職員は事業の実現に向けて情熱を持ちもっと積極的に動いていくべきである。若者からの提案事項はなおさら。 ⇒評価欄に記したが、例えば家族+αでボーリング同好会として申請したら不認可にするのは難しいだろう。 ⇒過去の経緯にこだわらず、斬新な取り組みができる可能性のある施策である。その良さを生かすことが求められる。</p>		
事務事業名	②ホームページや広報誌などの充実	担当課局・係	総務課 まちづくり推進係
第三者評価と評価理由	<input type="radio"/> ↑ 拡大 <input checked="" type="radio"/> → 継続 <input type="radio"/> ⇒ 改善 <input type="radio"/> ↓ 縮小 <input type="radio"/> — 終了 <input type="radio"/> ▲ 休止 <input type="radio"/> × 廃止		
	<p>拡大↑ 2 継続→ 5 改善⇒ 2 縮小↓ 1</p> <p>↑情報量は重要、さらに充実を。広報は字数がやや多く読みにくい努力している。HPは町民に情報を開示するという視点で見直してほしい。「今月の予定」は、公開会議とその他を区分、公開会議には場所記載、会議録などは4年間掲載。 ↑HPは松川町を訪れたいという観光客がHPを開くことが多いと思うが、具体的な情報が不足していて魅力的ではない。観光客を呼び入れる魅力的な松川町の演出はまずはHPではないか。広報は今まで通り紙面をもって伝えて欲しい。 →広報誌は実際に見ている人がどの位いるのか把握が必要。議会だよりは内容を充実してほしい。(働きぶりが明らかになるように) →今後将来主流となるインターネット(携帯含む)による広報の必要性から継続としたが、インターネットを利用する人口比率を考えると、今は現在のスタンスでよいと思われる。 →地域情報の発信という観点で継続とする。 →「活字」「言葉」に続いて、ディスプレイと媒体が多様化していることを踏まえて、当面、HPと広報と有線とを組み合わせる必要がある。 →広報誌などは1冊にまとめて出すと良い。 →単に広報と公民館報を抱き合わせただけの感が否めない。内容的に精査し親しめるものを求む。 ↓広報誌はあまり読まない、改善もしくは休止してはどうか。一方議会だよりについては拡大してほしい。</p>		
附帯意見	<p>→性格上全町民が対象となることから、利用者主体で偏りの少ないニーズに対応した多様対応とバランスが必要となる。そうゆう意味ではチャンネルYOUを活用した広報もあるのではないかと、また広報は一方通行的になることから意見を聞く(集約できる)方法も必要で一考も(容量的な問題もある)。 →HPのアクセス件数や広報の読者(モニター)の声を参考に。更に受け入れやすい情報ツールの改善を図られたい。 →「広報は読まれていない」という指摘がある。「公的な情報」という意味では内容に一定の制約やレベルが求められるだろうが、表現方法においては若い世代にも親しまれる工夫が必要であろう。また、双方向の「広報」の工夫が必要になる。 →自治会未加入者への配布方法や周知の一考を。</p>		

事務事業名	③企業誘致の推進	担当課局・係	産業振興課 定住対策室
第三者評価と評価理由	<input type="radio"/> ↑ 拡大 <input checked="" type="radio"/> → 継続 <input type="radio"/> ⇒ 改善 <input type="radio"/> ↓ 縮小 <input type="radio"/> — 終了 <input type="radio"/> ▲ 休止 <input type="radio"/> × 廃止		
	<p>拡大↑ 3 継続→ 4 改善⇒ 3</p> <p>↑ 厳しい経済状況の中ではあるが、将来を見据えた計画が必要である。 ↑ 企業誘致は重要。企業誘致サポーターの活用不十分。(事務作業に偏っていないか、事務作業は職員が行い、サポーターはもっと外へ。) ↑ 産業の活性化、雇用の創出といった点で拡大とする。 → 今後も企業誘致を推進する。 → どの様な目的で誘致してきたか検証が必要。町が将来“どの様にしたい”かの基準で決まる。 → 企業経営のノウハウをもったサポーターも設置して誘致を進めてほしい。 ⇒ 企業誘致サポーターの出労時間が多すぎる。(週3日でもよいのでは) 企業誘致サポーターは企業経営などの経験のある意欲的行動的な人を選んでほしい。 ⇒ 2年間にわたって、企業誘致の実績(成果)がないという事実に対して、謙虚に反省すべきである。「工業団地」の「工業」という限定的な表現などを再考し、町に幅広い企業活動をおこしていく必要がある。</p>		
附帯意見	<p>↑ 環境問題にも積極的に取り組む企業誘致も考える必要がある。 ↑ 地域経済の発展という点からは、地域の産業(農業や林業)や地元企業との連携が生まれる職種が望まれる。ニーズ把握が重要である。 → 検討地はインターへの道路整備が遅れている。中央新幹線(リニア)などの推進が大切。 町政にとって工場誘致(生産)による有効性をどこに求めるか、もし人口増(定着)に求めるならあわせて住宅・土地取得や太陽光発電の補助・子育てに必要な経費の補助(長時間保育の充実)などの多面的援助も必要となる。 → 企業誘致も大切だが、町民や町が望む会社の設立もあってよいと思う。清流苑の経営の実績があるので。 ⇒ 流通・情報・福祉・文化・観光など第三次産業など、町民の必要や町の資源を生かした企業活動に視野を広げる。また、企業誘致にとどまらず起業支援にも活動の中を広げる必要がある。</p>		
事務事業名	④まつかわの里室内温水プール及びバッテリーカーランド	担当課局・係	産業振興課 まつかわの里係
第三者評価と評価理由	<input type="radio"/> ↑ 拡大 <input type="radio"/> → 継続 <input checked="" type="radio"/> ⇒ 改善 <input type="radio"/> ↓ 縮小 <input type="radio"/> — 終了 <input type="radio"/> ▲ 休止 <input type="radio"/> × 廃止		
	<p>継続→ 2 改善⇒ 5 縮小↓ 2 廃止× 1</p> <p>→ 単に採算のみで結論を出す事は早計である。評価は今まで取り組んできた目標と実績に対して行うものであるが、必要性についても精査する必要はある。今後もっと利用者を増やす企画が必要になる。 ⇒ 料金は他町村の利用者と差を付けてみては。 ⇒ プールは当面継続し、赤字が拡大するようなら廃止、改修は慎長に。バッテリーカーは維持費か料金収入範囲なら継続、冬季は閉鎖。 ⇒ 運営方法の見通しを図られたく、改善とする。 ⇒ 利用状況を具体的に町民に知らせ、利用者数の拡大にむけての仕掛けをしていくべきではないか。 ↓ バッテリーカーについて8月のみ利用回数が突出しているのみで、今後の継続について疑問に思われる。 ↓ バッテリーカーランド廃止してはどうか。 × 費用対効果の面から、税金の使途を再考すべきである。放置すれば、赤字が拡大するばかりである。また、施設・設備の老朽化も不安材料である。通年で見れば、受益は住民のごく一部にしか及んでいない。町民の健康促進については、代替の施策が十分にある。「あるものはなくせない」という先例主義・惰性に流されるような行政はやめるべきである。</p>		
附帯意見	<p>→ 採算性を評価するだけでなく、本来の目的は何であったのか、この目的が達成されたのかされなかったのか、その要因は何か検証が必要である。今ある資産をどう活用し生かされているのかどうか施設の有効利用に結びつける手立て(手段・方法)を早期に実行する必要がある。効率のよい運用は何か悪いところは改善すればよい。老朽化による運営継続の是非の論議時にはその目的と採算性を見直す必要がある。 ⇒ 清流苑と合せて経営の改善が必要と思う。どんな事業も利益が出てこそ継続ができるものです。 ⇒ 観光施設、スポーツ、健康施設との総合的な観点から検討されたい。 × 公営事業は、採算がとれなくても、住民の福祉のために、必要なサービスを提供するものである。この事業は、今日では住民に必須のものであるとは認められない。赤字を拡大する前に撤退する勇気が、次世代に対する責務である。</p>		

事務事業名	⑤ボランティア活動・NPOの支援	担当課局・係	総務課 まちづくり推進係
第三者評価と評価理由	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> ↑ 拡大</div> <div style="text-align: center;"><input checked="" type="radio"/> → 継続</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> ⇒ 改善</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> ↓ 縮小</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> — 終了</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> ▲ 休止</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> × 廃止</div> </div>		
	<p>継続→ 4 改善⇒ 3</p> <p>→NPOへも情報をもraitたい。 →その実態が不明なため評価しにくい、ボランティアの主旨の沿っていれば継続する。 ⇒ボランティア活動への参加を社協と連携をとり、もっとボランティア活動にもっと興味をもって活動を促すように。NPOに変えた方が良い団体があれば指導などお願いしたい。 ⇒豊かな心温かい気持ちを助長する上からも、内容を見直し検討されたく改善とする。 ⇒今後、重要な施策であることは認める。しかし、3年間、予算が増えているが、その財政内容・成果をチェックする仕組みがない。この仕組みが作られ適切に機能しないならば単年度では「縮小」する必要がある。</p>		
附帯意見	<p>→民間事業体では利益が出るようにしているのに社協は利益が出ないわけがない。寄附まであるのでボランティア団体の育成は担うべきだ。 →委託については“任せたのでそちらでやって”はよくない。内容や実態についても十分な精査が必要と思う。 ⇒社協の活動に期待したい。 ⇒事業内容に於いて更に掘り下げた項目についての検討が必要ではないかと思われる。 ⇒社会福祉協議会や公民館への「丸投げ」ではなく、住民参加・費用・企画などの面で、自主的な募金・寄付、奉仕活動参加、住民ニーズとの整合性など、きちんと調整・査定する必要がある。いうまでもなく、ボランティア活動やNPOは、行政の「下請け」ではなく、自主的に活動する能力を高めていくように行政として支援する必要がある。 ・社協への委託が良いのか、地域包括支援センターとの統合が良いのか検討。(社協は介護事業に専念) ・評価者は関わりの深い事業の評価からは除外。</p>		

その他

- ・評価項目は事前に委員から意見聴取してほしい。
- ・評価時間が少ない。